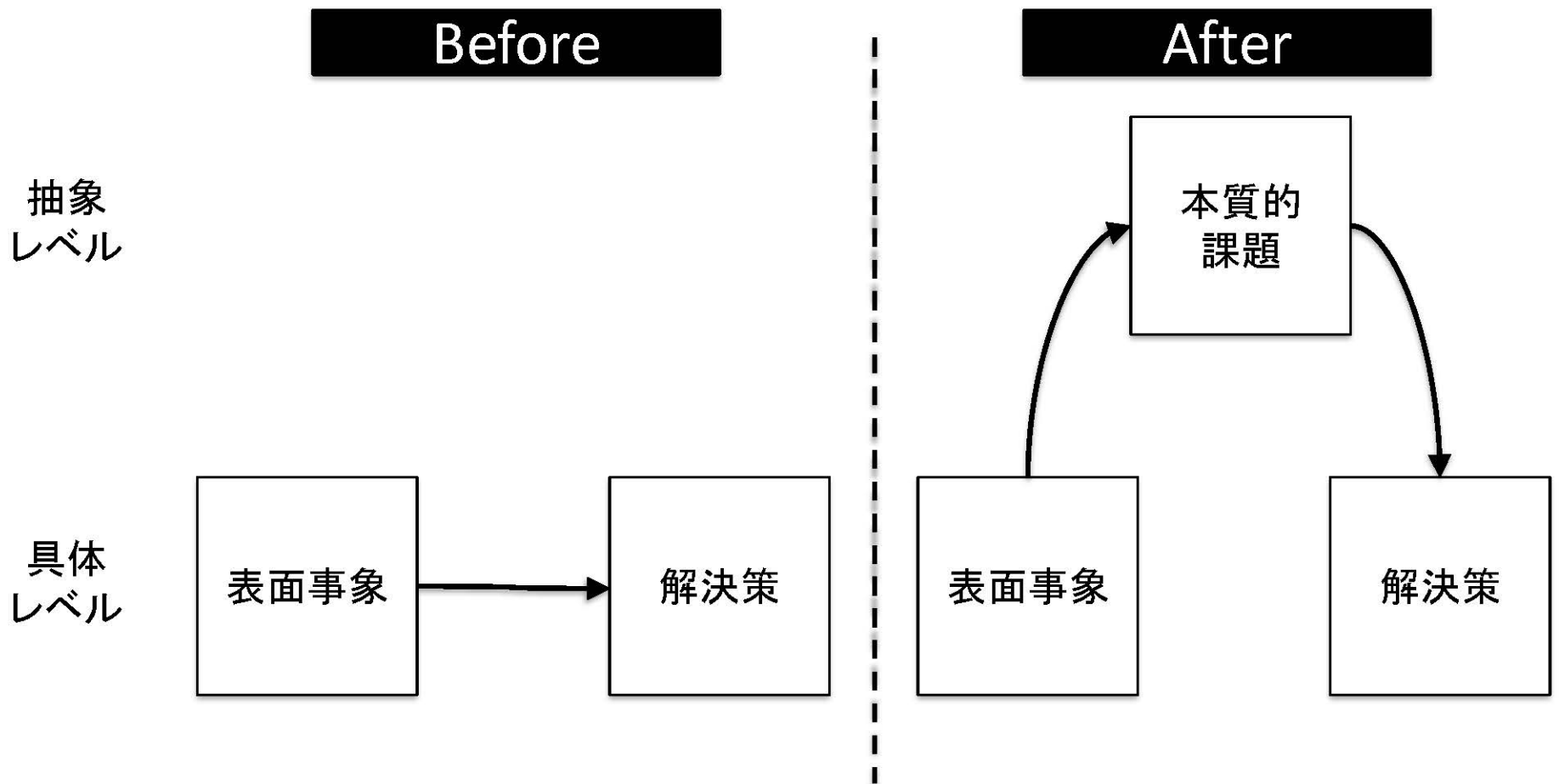
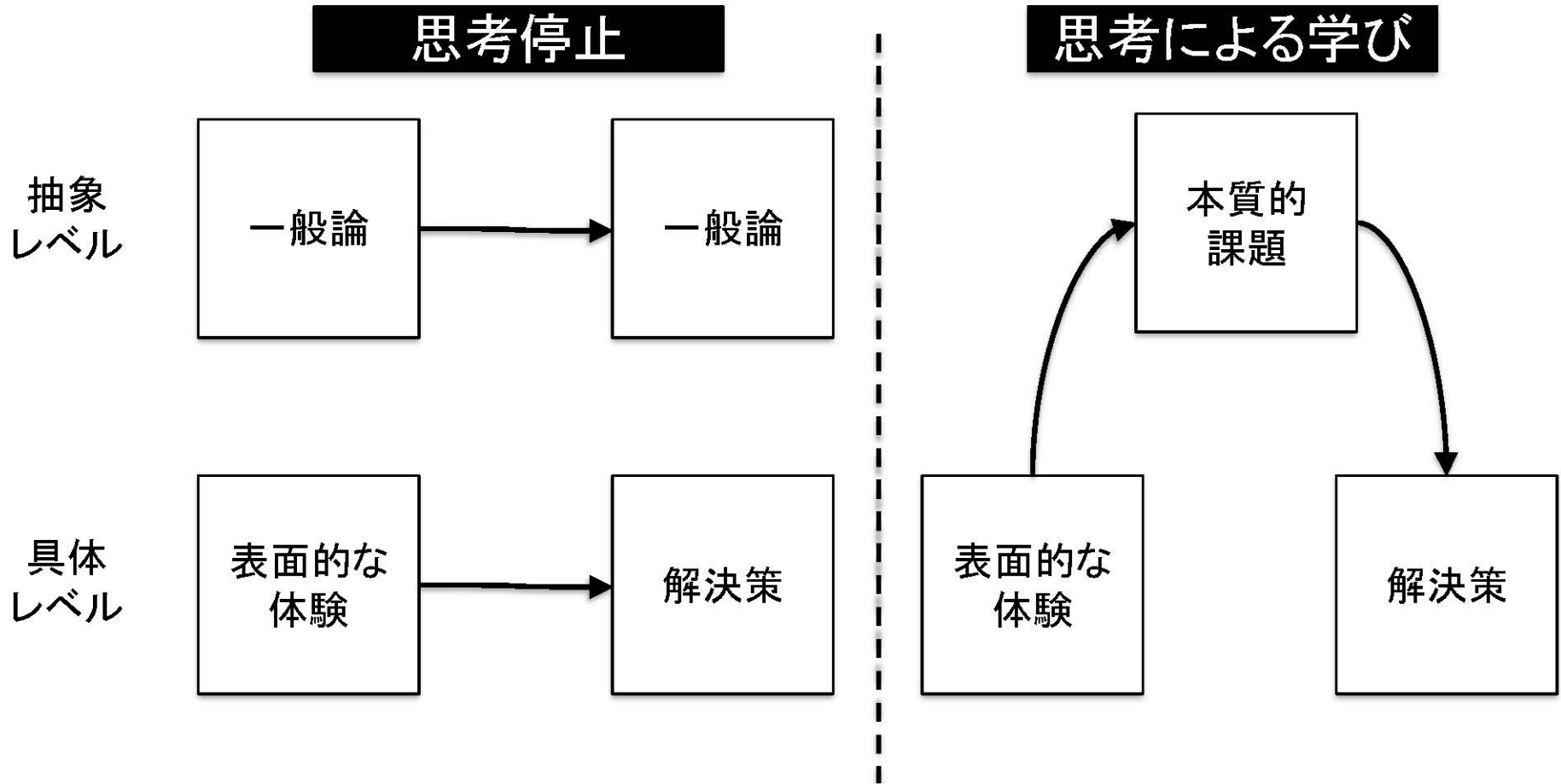


達成イメージ

具体→抽象→具体の往復による発想を目指します



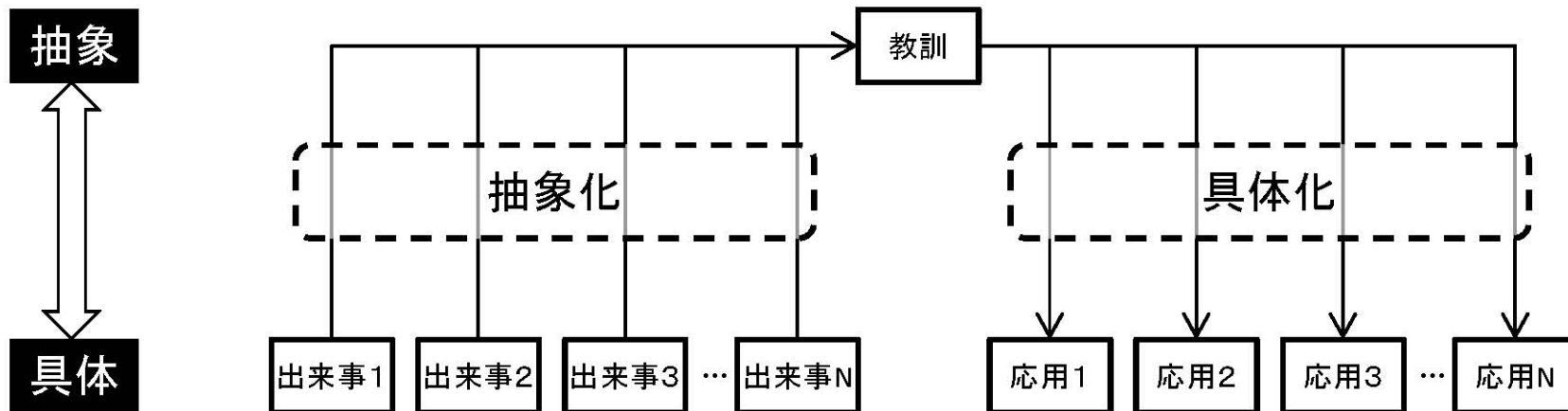
体験演習からの学び



教訓の抽象度を上げて応用範囲を広げる

ステップ1: 複数の具体から
抽象(パターン)を引き出す

ステップ2: 引き出した抽象
(パターン)を具体化する



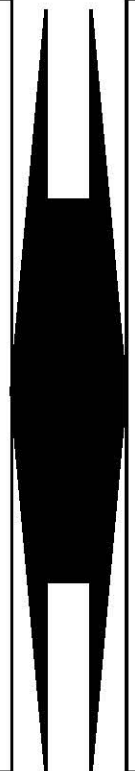
安定期 vs. 変革期の違い

安定期に重要

- 連続的改善
- 問題解決
- オペレーション
- 決定論
- 「守り」
- PDCAとプロジェクト管理
- 枠の中の最適化
- 蓄積した知識と経験
- 具体→具体

変革期に重要

- 不連続な変革
- 問題発見
- イノベーション
- 確率論
- 「攻め」
- プロトタイピング
- 枠を破って新たな枠を作る
- 少ない情報からの思考と創造
- 具体→抽象→具体



2つの頭の使い方

売っている	<ul style="list-style-type: none">• 実際のコンビニの店内をイメージして棚にあるものを挙げていく	<ul style="list-style-type: none">• 売り場のカテゴリーから個別の商品を思い浮かべる
売っていない	<ul style="list-style-type: none">• 他のお店をイメージする(家電量販店、ホームセンター、専門店)• 家の中をイメージする• オフィスや通勤風景をイメージする	<ul style="list-style-type: none">• 大きいものや高いもの• 生きもの• 許可が必要なもの• 形のないもの• そもそも売っていないもの



知識・経験型(具体的イメージ)
→直接目に見えるので、自然にやりやすいが応用が効きにくい

思考型(抽象化)
→直接目に見えないので、意識して時間かかるが応用がきく

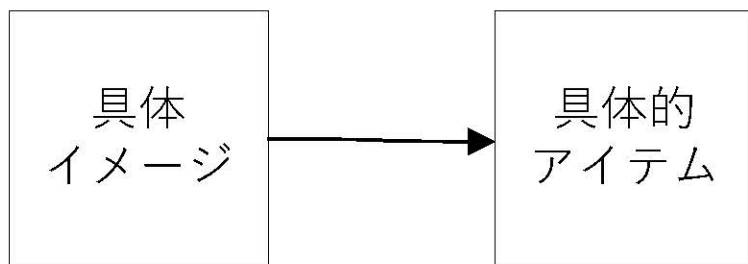
2つの思考回路の違い

イメージのままと「分類」を使う発想

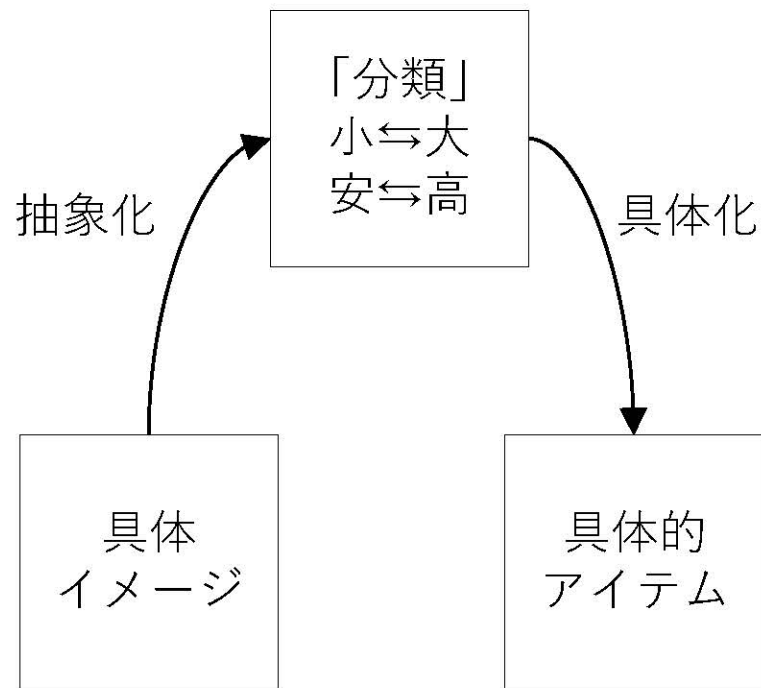
「イメージ」

抽象
レベル

具体
レベル



「分類」



知識力vs.思考力

2つの世界では価値観が正反対

知識力

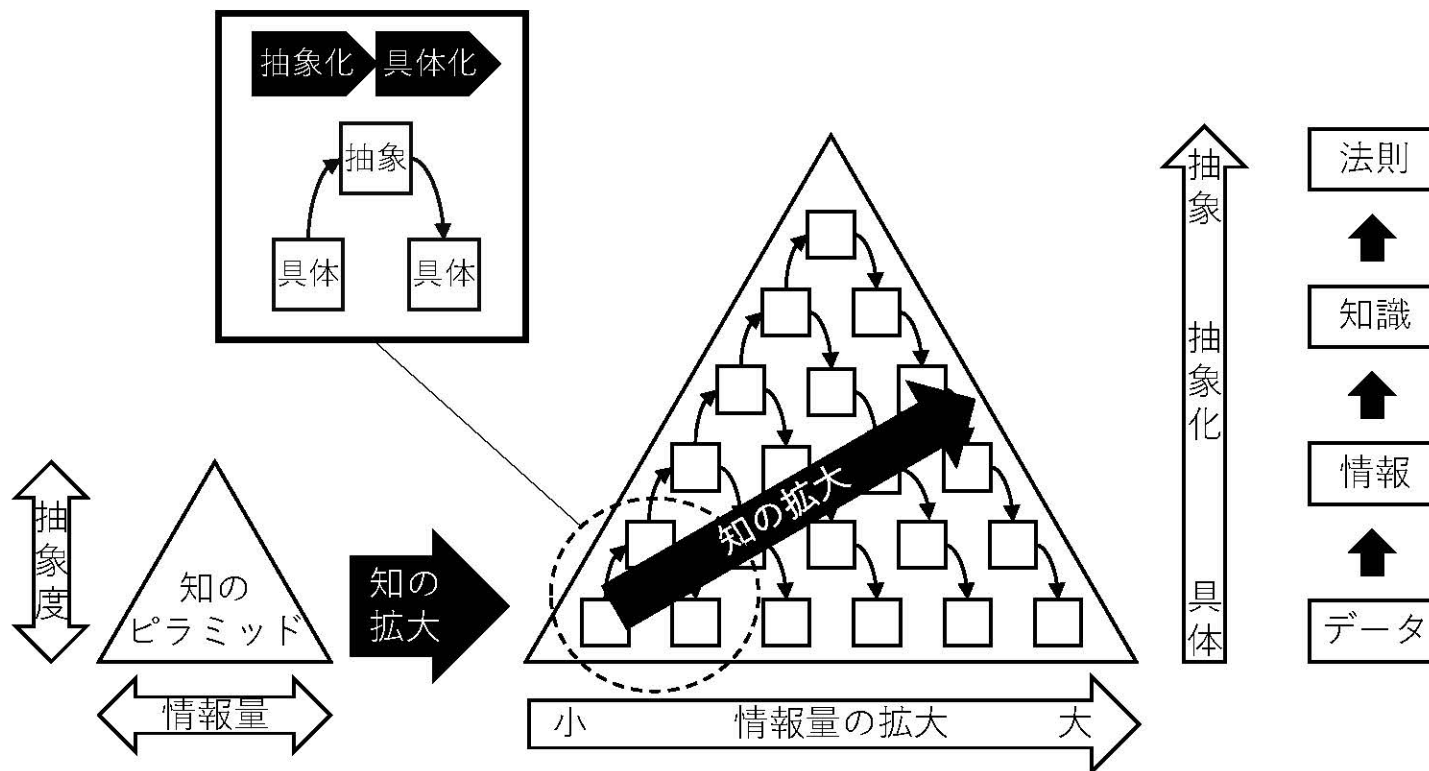
- 既知・過去重視
- 「正解」がある
- プロセスも一つ
- 時間かからないが有限
- 答えが重要
- 専門家が強い



思考力

- 未知・未来重視
- 「正解」はない
- プロセスは多様
- 時間かかるが無限
- 問いが重要
- 素人が強い

人はどうやって賢くなるか？



具体と抽象とは？

具体	抽象
<ul style="list-style-type: none">• 一つ一つの個別のもの• 目に見えるもの• 直接触れるもの• 絵に描け写真にも撮れるもの	<ul style="list-style-type: none">• 「まとめて一つにした」名前• 目に見えないもの• 直接触れないもの• 絵に描けず写真にも撮れないもの